土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　有地川　通常砂防事業に伴う業務委託(堰堤補修)

事業名 または 工事名　有地川　通常砂防事業

調査目的及び調査対象　砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor.E.2	**調査位置**	広島県福山市芦田町下有地			**北緯**	34° 30′ 16.9635″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 10月　4日 ～ 2022年 10月　5日	**東経**	133° 15′ 42.3200″
調査業者名		**管理技術者**		**担当者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +166.90m	**角度**	180°, 上下, 90°, 0°, 0°	**方位**	北 0°, 270° 西, 90° 東, 180° 南, 0°	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直 90°, 15°
総削孔長	3.00m	**使用機種**		**試錐機**	ワイビーエム製YBM-05型		
				エンジン	ヤンマー製NFD8型	**ポンプ**	丸山製作所製MS413型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
		0.60		砂礫		淡褐灰				粗砂主体であるが、最大5cm程度の短柱状に採取される石分を混入。深度0.62m付近で岩盤に当たる。	
1	166.30			流紋岩		暗青灰				暗青灰色を呈した硬質な岩質。E.1と同様な流紋岩である。角度70度程度の節理面と思われる割れ目と、水平～70度程度でやや波状の割れ目が混在する。これらの割れ目により、コアは1～15cm程度で岩片状～短柱状に割れる。	
2											
3	163.90	3.00									

標準貫入試験 深度－N値図 (0, 10, 20, 30, 40, 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
(貫入不能)		1.02 / 1.02	貫入不能			50 / 0		
(貫入不能)		2.00 / 2.00	貫入不能			50 / 0		
(貫入不能)		3.00 / 3.00	貫入不能			50 / 0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					10/4